平成２８年度宮崎県立高鍋高等学校　学校評価書

学校経営ビジョン	一人ひとりが輝いて煌めく未来を切り拓こう（「高鍋高校ここにあり」と全国に誇れる学校） ・人権、規範意識の醸成を基礎に、夢や希望に向かってひたむきに自己を高めることを通して、創立９０周年の伝統を継承し、さらなる一歩を踏みだす。 ・地域に開かれた信頼される学校づくりに邁進すると同時に、地域に貢献し県内外はもとより、世界に羽ばたく人材を育成する。		◎評価基準　４：十分達成できた　３：概ね達成できた ２：やや期待を下回る　１：不十分であり改善を要する ◎重点目標と項目に関する自己評価は、各校務分掌等の関係項目の評価値を平均したものである。
	目指す学校像 (1)生徒一人ひとりを大切にし、熱心で親切な指導が展開される学校 (2)いじめや差別のない、支え合い、高めあえる集団としての学校 (3)保護者・地域・学校が協力し合い、地域から信頼される学校 (4)成果と実績が確実に伸びる学校	**目指す教師像** (1)生徒一人ひとりの話に耳を傾け、生徒の良さと可能性を限りなく伸ばす教師 (2)チームワークを大切に、忙しいけれどやりがいのある職場づくりに専念する教師 (3)高度な倫理観を持ち、学び続けることによって、教師としての力量を常に高め合う教師	**目指す生徒像** (1)夢や希望に向かって、自分を信じ、仲間を信じ、負けない気持ちとあきらめない精神力とで、常に挑戦する生徒 (2)何時でも何処でも挨拶をすることができ、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える生徒 (3)幅広い教養を身につけ、学力と体力を高め、心を磨き、社会に貢献しようとする生徒

重点目標	評価項目	具体的方策または指標	自己評価	成果と課題	学校関係者評価	評価・具体的意見
1　確かな学力の向上と進路実現	学力の向上	①自宅学習の充実 ・学力向上との関連性を検討し、企画・提案する。 ②定期考査の円滑な実施と欠点保有者の削減 ・家庭学習を充実させ、学業と部活動の両立を図る。 ・事前指導と学習定着指導を徹底する。 ③自習時間の削減 ・特編・振替等での対応を推進する。 ④基礎学力の定着 ・基礎学力養成講座を充実させる。 ⑤国公立大学推薦AO入試合格率50%達成 ・推薦入試の研究及び、面接小論文指導の体系化と全職員による組織的な対応を推進する。 ⑥国公立大学一般入試合格率40%達成 ・課外、土曜講座の柔軟な対応 ・国公立大学個別学力試験対策（入試問題研究等）	3.24	●成果 ・就職率　９３．３％（就職希望１５名中１４名内定）　(3/15現在) ・現役の国公立大学合格５０名（３／１５現在） Ｈ２７（５９）、Ｈ２６（５８）、Ｈ２５（３８）、Ｈ２４（４２）、Ｈ２３（４６） ●課題 ・就職率　１００％ ・さらなる学力向上と授業力向上 ～宮崎大学との高大連携を通した校内授業研究の充実	3.68	・年々新しい取り組みがなされ素晴らしい。 ・生徒の学力向上のために学校を挙げて取り組んでいるところは素晴らしい。さらなる向上のためには生徒がいかに自宅学習に取り組むかにかかっていると思う。 ・国公立大学合格者数が年々増加しており高く評価できる。探究科学コースを設置し、努力された結果が出ている。 ・私立大学合格者もアピールしてはどうか。 ・1年次から、担任、生徒、保護者が三位一体となり目標を明確にして取り組んでいく必要がある。 ・教科を越えた横断的な取り組みは生徒をいろいろな角度から見ることができよいと思う。 ・探究科学コースが行っている３校合同学習会やWinter Camp などが素晴らしい取り組みである。課題研究発表会などを通じて主体的に学べる人材育成の継続が今後2020年からの大学入試改革時に生きてくる。 ・生活情報科の検定は大変すばらしい成果をあげている。 ・熱い思いが生徒を動かし、生徒を大切に育てることが学力向上につながっていくと思う。 ・授業改善の取り組みが先進的であり評価できる。 ・宮崎大学との連携の効果を期待する。
	授業力の向上	①研究授業の参観率向 ・教科を越えた参観と、検討会の充実を図る。 ②「生徒による授業評価」の実施 ・評価の結果を踏まえた授業の工夫、改善を図る ・振り返りシートを活用する。				
	キャリア教育の充実	①学年に応じた進路講演会、進学講演会の実施 ②進路ガイダンス(1年)、わくわく講座(1年)、大学出前講座(2年)などの学校行事の充実 ③オープンキャンパス(2年)への参加の促進 ④インターンシップ実施(2年生情科)による職業意識の高揚 ⑤ハローワークとのさらなる連携、就職率１００％の達成 ・進路説明会や企業説明会に積極的に参加する。 ・就職について、生徒保護者に対する説明会を実施する。				
2　文武両道の推進と自主的自律的自己の確立	部活動、学校行事、生徒会活動の活性化	①部活動の活性化と実績の向上に向けた支援及び加入率の向上 ・1学期当初、新入生が加入しやすい環境をつくる。 ・活動内容や大会、試合日程、結果等を校内外に宣伝し、応援や支援体制を向上させる。 ②けじめのある部活動の推進 ・活動時間に対する意識の向上を図る。 ・活動環境の美化に努めさせる。 ③勉学との両立に向けて真摯に努力する生徒の育成 ・部顧問、学級担任、教科担任の連携を密にして、宅習時間の確保と授業や課題等に取り組む姿勢を向上させる。	3.16	●成果 ・部活動加入率９３．７％（Ｈ２７は９２．％） ・ハイレベルな部活動実績 （ラグビー、ボート、ホッケー、剣道、放送、書道、美術、写真） ●課題 ・部活動の更なる活性化に向けての仕掛け （部活動生集会等の年間計画への位置づけ、部活動関係の掲示板の設置とその活用など）	3.78	・部活動生集会や結果の広報は、所属感や結束力の向上、母校を誇りに思うことにつながるので積極的な実施をお願いしたい。 ・部活動加入率の高さだけでなく実績をあげている。学業との両立については少し課題があるのではないか。 ・ラグビー部の活躍は地域を元気にしてくれる。また、文化部の活躍もよく耳にする。今後とも”文武両道”を伝統に輝いてほしい。
3　豊かな心の醸成と基本的生活習慣の確立	心の教育の推進	①生徒の人権意識の向上 ・人権教育推進委員会との連携を密にする。人権学習の計画的な実施と職員の事前研修の充実を図る。 ②いじめの防止およびいじめが起きた際の迅速かつ適切な対応 ・アンケートの定期的な実施と結果の活用を図る。 ・生徒を中心としたピア・サポート活動を推進する。 ・よりよい人間関係の構築に向けての意識の向上を図る。 ③様々な観点からの生徒理解の推進 ・教育相談期間の計画的な実施と活用を充実させる。 ・保護者との密な連携、学級担任や教科担任、保健室や部顧問による情報の交換及び共有 ④生徒・保護者への対応に向けた職員に対する支援 ・関係職員で情報の共有と共通理解を図り、学級担任等に対して必要に応じた支援を行う。 ・管理職や関係機関との連携を密にする。 ⑤読書指導の充実 ・貸出冊数1人平均１０冊以上を目指す。 ⑥心の健康の充実 ・保健室来室時に個別指導を行う。 ・保健便りにより家庭へ啓発活動を行う。 ・学級担任、生徒指導部教育相談担当、関係職員を交えた取り組みの強化を図る。	3.17	●成果 ・元気な挨拶、端正な容儀の定着 ・学年主任を中心とした指導により遅刻者ほとんどなし ・ビブリオバトルの実施と県大会出場による読書活動の活性化 ・特別支援教育の推進(発達障がい、聴覚障がいなど) ●課題 ・「いじめ防止基本方針」の全職員への周知 ・教育相談部の設置による教育相談機能の充実 ・特別支援教育の更なる推進	3.60	・社会に出て通用する礼儀がある。また、元気な挨拶であり制服の乱れなどないが、生徒によって差があるのが少し気になる。こまめな指導をお願いしたい。 ・しつけ、規律を守ることを徹底できており、素直でよい生徒が多い。先生方の日々の努力のおかげだと高く評価したい。 ・朝、正門付近での清掃活動など感心させられる。今後も続けてほしい。 ・PTA合同立ち番指導を通じての交通安全への取り組みは大変すばらしい。 ・交通安全、自転車の鍵かけについても、将来、事故や犯罪から身を守る上で必要なことである。意識付けの徹底をお願いしたい。 ・いじめなどに対して迅速に対応できている。教師同士の情報の共有化を引き続きお願いしたい。 ・いじめ、不登校は命に関わる重要な問題である。学校、生徒、家庭が一体となった取り組みを今後もしていただきたい。 ・自己肯定感が高まるような取り組みが多くなされることを期待します。 ・いじめによる重大事案は発生していないとのことであるが、近年いじめは多様化し発見しづらくなっている。いじめ防止基本方針を教職員に徹底するなどさらなる対策に力を入れていただきたい。 ・ＳＮＳの正しい活用の指導をお願いする。 ・自己肯定感が高まるような取り組みが多くなされることを期待する。 ・思いやりの心を学ぶ特別支援教育を大切にしてほしい。
	健康安全教育の推進	①個人の健康管理や校内の衛生管理の充実 ・健康診断後に治療勧告を行い、治療実態を把握して健康の維持増進につなげる。 ・保健委員による手洗い場の点検、健康観察の実施の充実を図る。 ②法令や校則を遵守し、モラルやマナーを大切にする生徒の育成 ・関係機関や地域との連携。講話やＨＲ活動を通しての心の教育や規範意識を高めるための教育を充実させる。 ・携帯電話やスマートフォンの適正な利用や情報モラルの向上に対する指導に努める。 ①自分や周囲の人達の安心・安全を尊重する生徒の育成 ・交通マナーの向上を図る指導を充実させる。 ・自転車施錠の徹底を図る。 ・教室の施錠や貴重品管理の徹底を図る。				
	基本的生活習慣の確立	①元気な挨拶ができ、端正な容儀を保てる生徒の育成 ・校門での挨拶運動を実施する。全職員による容儀面の常時指導を徹底させる。 ・朝の「正姿」の指導を徹底することで、姿勢や呼吸、心を整えさせ落ち着いた学校生活を送らせる。 ②時間を大切にできる生徒の育成 ・遅刻指導（学年連携）、2分前着席（教科担任連携）。				
4　地域に開かれた信頼される学校づくりと情報の発信	地域・保護者及び小・中学校との連携強化	①「オープンスクール」の参加生徒数４００人以上 ②「授業公開」を年２回実施しの参加人数３００人以上 ③地域に貢献できる生徒の育成 ・地域のボランティア活動に積極的に参加する。 ④PTAの各種研修の実施・昨年以上の参加の促進 ⑤PTA奉仕作業の保護者300名以上参加 ⑥PTA視察研修保護者10名以上参加 ⑦職員・保護者の意思疎通と親睦の機会の設定 ・PTA理事会、PTAレクレーション、母親委員会などPTA活動を援助する。	3.15	●成果 ・地域に開かれた学校への取り組み (高い評価を得たオープンスクール、近隣の中学校との連携の充実、完成度の高い「明倫」、ＨＰによる広報の充実、ＰＴＡ行事の充実など) ●課題 ・入学志願者の増加 ・「明倫」やマスコミ、その他を活用した広報宣伝活動の充実 ・地域への積極的参加 (ボランティアの推進を含む)	3.30	・オープンスクールや中学校との連携など大変素晴らしい。しかしながら入学志願者が定員に達していないことが残念である。この地域の核となる学校なので、真摯に受け止め、より一層の努力を期待する。 ・出身中学校に生徒を派遣し、中学生やその保護者と語り伝える活動を積極的に取り組んではどうか。 ・広報が充実しており、生徒の地域への活動も素晴らしい。さらに外に向かって広報活動をしてほしい。生徒定員確保と、生徒を育てる３年間を分けて考えマネジメントしていく必要がある。 ・小中高連携、高鍋町とのビジョンの共有、また支援や協働を通じて地域とともにある学校づくりを目指してほしい。 ・ＰＴＡ視察研修や支部活動の充実を図ってほしい。
	広報活動の充実	①生徒、保護者、地域への情報発信 ・担任、学年、教務通信等で情報を月２回発信していく。 ・広報委員会によるＰＴＡ新聞を年４回発行する。 ・広報紙「明倫」、ホームページ等の中身を充実させる。 ・学校行事や部活動など学校ＨＰにこまめにアップする ・マスコミを積極的に活用する。				